



令和4年度 福島市水道事業当初予算資料

令和4年7月

福島市水道局

1 令和4年度当初予算の概要

編成方針

第3期財政計画に基づき、第6次総合計画の重点施策に掲げる「ライフラインの災害対策の強化」として、水道施設の耐震化事業に集中的に取り組むほか、ふくしま水道事業ビジョンにおける**安全、強靱、持続、環境**を柱とした4つの基本方針に基づく施策・事業を推進し、長期的かつ総合的な観点から投資効果、緊急度、優先度等十分検討を行い、予算を編成した。

基本方針1 安全でおいしい水の供給

基本方針2 災害に強い水道の構築

基本方針3 持続可能な水道経営

基本方針4 地球にやさしい水道へ挑戦

収益的収支

収益的収支における損益は、プラスの場合は「純利益」、マイナスの場合は「純損失」となります。

純利益は、資本的収支における不足額を補てんすることとなり、いわゆる「もうけ」ではなく、施設整備や更新に充てるためのものとなります。

(単位 千円 税込)

項 目	令和4年度予算(A)	令和3年度予算(B)	比較増減(A-B)
収益的収入	7,741,721	7,723,649	18,072
収益的支出	7,739,923	7,215,118	524,805
純利益	1,798	508,531	△506,733



資本的収支における不足額に補てん

資本的収支

約 3 4 億円の資本的支出のうち、企業債や国庫補助金などの資本的収入で賄えるのは約 3 9 %で、資本的支出に対して約 6 1 %の約 2 1 億円が不足となりますが、収益的収支で生じた純利益などで補てんします。

(単位 千円 税込)

項 目	令和4年度予算(A)	令和3年度予算(B)	比較増減(A-B)
資本的収入	1,353,257	1,108,305	244,952
資本的支出	3,474,555	3,256,397	218,158
資本的収支不足額	△2,121,298	△ 2,148,092	26,794



収益的収支で生じた**純利益**や**繰越財源**

2 財政計画との比較

昨年度、水道事業経営審議会より「健全な経営の継続が確保されると判断する」と答申をいただいた財政計画と、その後の変更要因などを反映した実際の予算編成の内容を比較したものです。

収益的収支

収益的収入

(単位 千円 税抜)

項 目	令和4年度予算(A)	財政計画(B)	比較増減(A-B)
水道料金	6,372,399	6,335,349	37,050
加入金	153,370	153,370	0
下水道使用料徴収受託収益	131,270	125,891	5,379
一般会計補助金	61,515	62,079	△564
長期前受金戻入	311,828	297,841	13,987
その他収入	44,255	39,051	5,204
計	7,074,637	7,013,581	61,056

収益の支出

(単位 千円 税抜)

項 目	令和4年度予算(A)	財政計画(B)	比較増減(A－B)
受水費	2,285,583	2,285,703	△120
修繕費、維持管理費等	1,747,693	1,563,523	184,170
減価償却費等	2,292,428	2,532,464	△240,036
人件費	713,997	648,858	65,139
支払利息	172,211	167,424	4,787
その他	48,990	18,494	30,496
計	7,260,902	7,216,466	44,436

項 目	令和4年度予算(A)	財政計画(B)	比較増減(A－B)
収益の収入	7,074,637	7,013,581	61,056
収益の支出	7,260,902	7,216,466	44,436
純利益	△186,265	△202,885	16,620



資本的収支

資本的收入

(単位 千円 税抜)

項 目	令和4年度予算(A)	財政計画(B)	比較増減(A-B)
企業債	1,082,000	1,413,000	△331,000
国庫補助金	150,893	84,748	66,145
一般会計補助金	37,685	36,857	828
負担金等	82,679	149,387	△66,708
計	1,353,257	1,683,992	△330,735

資本的支出

項 目	令和4年度予算(A)	財政計画(B)	比較増減(A-B)
老朽管更新事業費	1,272,939	1,698,371	△425,432
その他の建設改良費	535,777	649,554	△113,777
人件費	229,243	237,380	△8,137
その他支出	33,290	39,379	△6,089
企業債償還金	1,219,962	1,198,282	21,680
計	3,291,211	3,822,966	△531,755

(単位 千円 税抜)

項 目	令和4年度予算(A)	財政計画(B)	比較増減(A-B)
資本的収入	1,353,257	1,683,992	△330,735
資本的支出	3,291,211	3,822,966	△531,755
資本的収支不足額	△1,937,954	△2,318,974	201,020

年度末繰越財源額

収益的収支における純利益とあわせ資本的収支不足額の補てん財源となるものであり、安定的な財政運営の財源となるものです。

令和4年度見込み(A)	財政計画(B)	比較増減(A-B)
2,825,728	2,459,302	366,435

※ 令和4年度見込みは、令和4年度当初予算から算出した額。

令和3年度決算見込み(A)	令和3年度予算(B)	比較増減(A-B)
3,839,555	2,500,634	1,338,921

3 令和4年度の主な事業



基本方針1 安全でおいしい水の供給 188,734千円

水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。

(1) 水質管理の徹底 188,734千円

◎定期的な水質検査

安全でより優れたおいしい水を供給するため、多くの機器を使い、51の水質基準項目等の検査を定期的を実施します。

また、水道水の色や濁りの有無及び残留塩素濃度の測定を、毎日、市内26箇所で行います。



福島地方水道用水供給企業団による共同水質検査

◎ 鉛製給水管解消促進

市の管理となる公道部の鉛製給水管14カ所を一括解消

※これまでは老朽管更新事業等に合わせ解消してきた。



鉛製給水管取替工事補助金交付制度

個人管理となる宅地内の鉛製給水管をポリエチレン製給水管などに取り替える工事に対し、その費用の全額又は一部を補助する制度

公道部の一括解消に合わせ、該当使用者へ対し制度概要のチラシを送付

基本方針2 災害に強い水道の構築 2, 453, 706千円

適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。

(1) 施設更新と維持管理の強化 1, 927, 010千円

◎ 老朽管更新事業【交付金事業・単独事業】

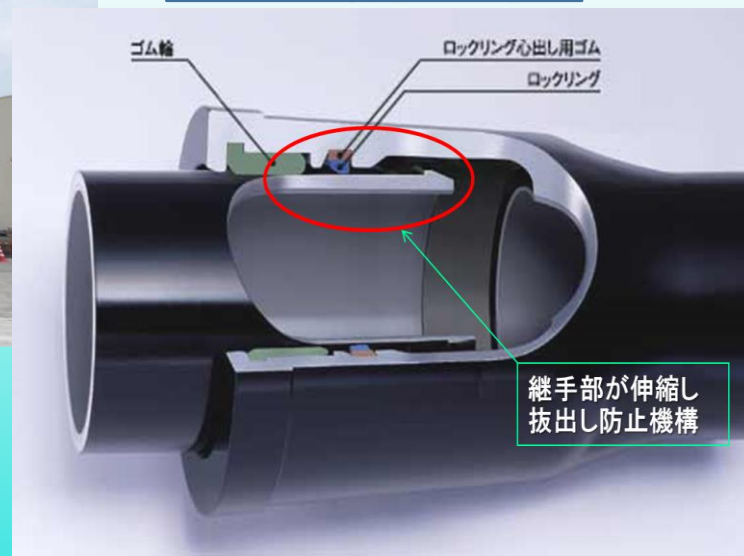
安全、安心で、おいしい水道水の安定的な供給を継続するため、老朽化した水道管を更新し、漏水の未然防止等に努めるもの。

これまでの拡張事業において整備した管路は、布設年度に偏りがあり、法定耐用年数での更新には大きな財政負担が必要となるため、アセットマネジメントの考えに基づく管路の長寿命化や費用の平準化を図り、100年サイクルでの効果的、効率的な更新に取り組んでいる。



ダクタイル鋳鉄管（耐震継手）

老朽管更新事業に合わせ、基幹管路には耐震継手のダクタイル鋳鉄管を使用し、令和7年度の基幹管路の耐震適合率100%を目標に掲げ、事業を推進している。



(2) 水道施設の機能強化

◎水道施設耐震化事業

496,600千円

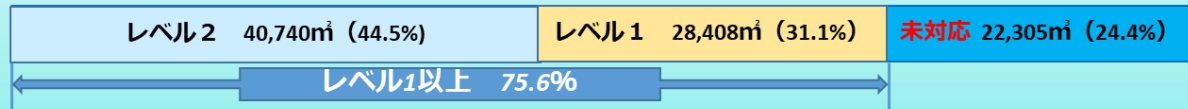
耐震化基本計画に基づき、廃止施設を除いて令和7年度までに主要な配水池等のレベル1耐震化率を100%、基幹管路を令和7年度までにレベル2耐震適合率100%とするため施設の耐震化を推進します。

耐震化の状況(令和3年3月31日現在)

○配水池等 91,453m³

■レベル2耐震化率44.5% ⇔ 全国平均58.6%

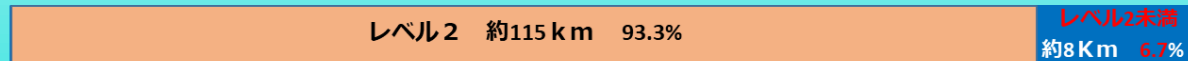
費用対効果の観点から、施設更新時にレベル2耐震基準を満たす計画であり、施設統廃合も含めたレベル1耐震化率100%を優先的に実施する。



27施設(レベル1以上20施設、残り7施設) ⇒ 令和7年度までにレベル1以上 100%目標

○基幹管路(導水管、送水管、配水幹線) 約123km

■令和元年度末耐震適合率91.4% ⇔ 全国平均40.9%



レベル2 約115km(93.3%)、レベル2未満 約8km(6.7%)

⇒ 令和7年度までに基幹管路レベル2 100%目標

※レベル1 最大震度階 6弱(東日本大震災時の福島市)

レベル2 最大震度階 6強(福島盆地西縁断層帯 → 300年以内の発生確率ほぼ0%)

(3) 災害対策の強化 30,096千円

◎ 給水タンク車の更新(購入)

老朽化した給水タンク車（平成8年6月購入：26年経過）を更新し、非常時の応急給水に備える。

※故障した圧送ポンプ部品の欠品により、修理不能となった。



令和4年福島県沖地震において、相馬市への応援給水にも使用した車両。

圧送ポンプの故障のため、通常の応急給水には対応できるが、病院や福祉施設などの受水槽への注水ができないため更新するもの。

応急給水体制の現状

給水タンク車：4台、可搬型1tタンク：23台、ウォーターバルーン：10基
組み立て式タンク：1基、背負い式給水袋：22,000枚 など

基本方針３ 持続可能な水道経営

1, 354, 842千円

お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。

(1) 経営基盤の強化

1, 304, 642千円

◎ 漏水調査による有収率向上対策

- ・リークチェッカーによる漏水調査の試験的導入継続

水道メーター検針時にリークチェッカーで収音したデータの時間積分解析、AIによる録音解析を行い、漏水の疑いがある箇所を選定し、専門技術者による漏水箇所を特定することで、有効率・有収率の向上に努めます。

※リークチェッカーとは？

継手や管本体などの損傷部から、水が流出することで発生する振動を利用して、漏水の有無を確認することができる機器。

水道メーターのガラス面に機器をあて、振動を録音し解析することで漏水の有無を特定します。

◎ 遊休施設の整理推進

・旧渡利浄水場施設撤去工事

旧渡利浄水場解体撤去工事については、令和4年度に、進入路建設、計器類撤去、汚染土壌搬出に係る費用を計上。



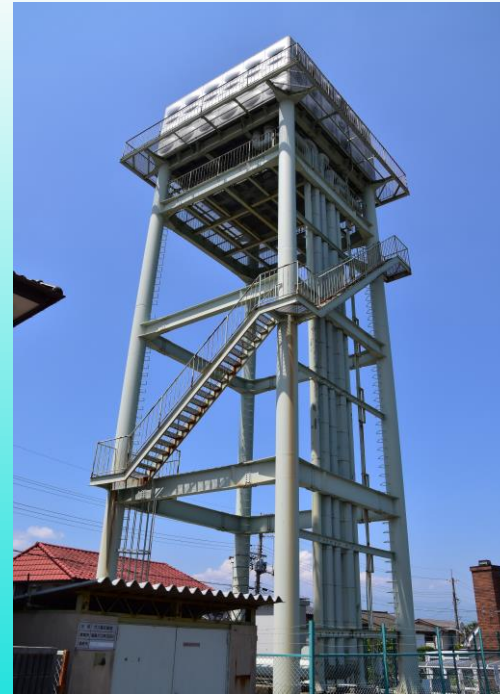
・廃止高架水槽解体撤去実施設計委託

蓬莱地区、桜台地区への供給に必要であった蓬莱高架水槽、桜台高架水槽について、供給網の整備が完了し、南部受水池直送系への切り替えが完了したため、廃止するもの。

蓬莱高架水槽



桜台高架水槽



◎ 水道週間イベントの実施

水道まつり2022

- ・日時 令和4年7月2日（土曜日）午前10時30分から午後4時
 - ・会場 アクティブシニアセンター アオウゼ
 - エコサイエンスショー&キラキラボトルづくり
 - お風呂で楽しむ！バスボムづくり
 - オリジナルタンブラーづくり
- 他、管工事組合・福島ユナイテッドFCコーナー等



サイエンスインストラクター・防災士 阿部清人氏



バスボムづくり

水道ポスターコンクール2022作品展

- ・日時 令和4年7月1日（金曜日）午前10時30分から午後4時
令和4年7月2日（土曜日）午前10時30分から午後4時
 - ・会場 アクティブシニアセンター アオウゼ
- 福島市内の小中学生から応募があった全作品を展示します。



令和3年度 小学校高学年の部 最優秀賞作品